

「公共工事コスト削減対策に関する新行動指針」
【施策名：(1)工事コストの低減 ③設計方法の見直し】

電源設備に自家発電方式を採用

工事名：高松空港盛土体モニタリング施設設置工事

概要： (従来) 商用電源 ⇒ (新) 自家発電方式 (太陽光発電と風力のハイブリッド発電)

効果：

- 毎年の電気使用量の削減 (5,000円程度/年)
- 商用電源の配電工事が不要となり電源設備のコストが約9百万円削減可能。
(削減率 約19%)

